2026年度 第２四半期

決算説明資料

2026年11月26日

ADEKA
Add Goodness

証券コード：4401
（東証プライム）

2026年度 第２四半期

決算説明

代表取締役社長兼社長執行役員

城詰 秀尊

2026年度 第２四半期　本日のサマリー

ADEKA Add Goodness

1

売上高・営業利益ともに中間期として過去最高を更新

化学品・ライフサイエンス事業が増収増益に寄与

2

業績予想・配当予想を上方修正

営業利益は、中計目標の530億円に到達する見通し

3

半導体事業の成長戦略

半導体イノベーションセンターの稼働と次世代向け投資の拡大

目次

1. 2026年度 第２四半期連結決算 … p.4
2. 2026年度 通期連結業績の予想 … p.7
3. セグメント別の概要 … p.11

≪Appendix≫ 補足資料 … p.27

【数値の記載方法に関する注意事項】

- 金額は億円未満を切り捨てて表示
- 比率は小数点第２位を四捨五入して表示
- １株利益は小数点第２位を四捨五入して表示
- 四捨五入および切り捨て処理により、合計値と内訳の合計が一致しない場合があります

1. 2026年度 第２四半期連結決算

連結業績の概要

増収増益
（対前年同期）

化学品事業とライフサイエンス事業が業績拡大を牽引

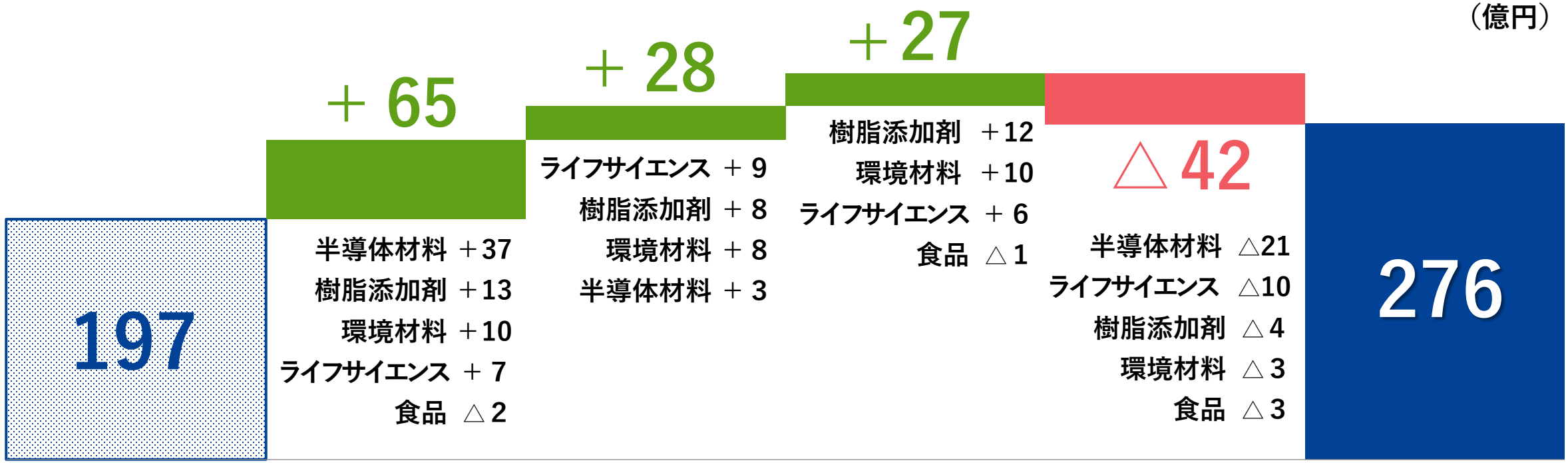
（億円）	FY2025 2Q	FY2026 2Q	増減額	対前年同期 増減率
売上高	1,957	2,231	＋ 274	＋ 14.0%
営業利益	197	276	＋ 79	＋ 40.0%
経常利益	199	284	＋ 84	＋ 42.5%
中間利益	124	190	＋ 65	＋ 53.1%

1株利益	122.4 円	195.7 円	＋ 73.3 円

営業利益の増減分析

前年同期　79億円　増益

（億円）



2. 2026年度 通期連結業績の予想

2026年度 連結業績予想

（億円）	FY2026（11月予想） 上期 実績	下期 予想	通期予想	FY2025 実績	増減額	対前期 増減率
売上高	2,231	2,448	4,680	4,165	＋514	＋12.3%
営業利益	276	253	530	416	＋113	＋27.4%
経常利益	284	245	530	427	＋102	＋23.9%
当期純利益	190	144	335	278	＋56	＋20.2%
1株利益	195.7円	149.5円	345.2円	278.0円	＋67.2円	

為替レート	FY2026 上期実績	下期前提	感応度（1円円高影響）	FY2025 実績
ドル	159.49円	158.00円	営利 △1.1億円	150.77円
ユーロ	184.43円	185.00円	営利 △0.6億円	174.79円

2026年度 通期連結業績予想の修正（対 2026年8月発表値）

（億円）	11月発表	8月発表	増減額
売上高	4,680	4,620	＋60
営業利益	530	500	＋30
経常利益	530	500	＋30
当期純利益	335	320	＋15
1株利益	345.2円	330.0円	

配当予想の修正

１株当たり配当金

	11月発表	８月発表
期末	74 円	66 円
年間	140 円	132 円

― 株主還元方針 ―

『ＡＤＸ ２０２６』配当方針

配当性向 40%以上 維持

適切な還元を総合的に勘案し、安定配当の維持を基本とする

株主還元方針および業績予想の上方修正を踏まえ、
期末・年間配当予想を引き上げ

3. セグメント別の概要

2026年度 連結業績予想の修正（対 2026年8月発表値）

ADEKA Add Goodness

（億円）	FY2026 売上高			増減額		FY2026 営業利益			増減額	
	上期実績	下期	通期	下期	通期	上期実績	下期	通期	下期	通期
化学品	1,260	1,281	2,542	＋ 42	＋ 29	203	172	376	＋ 8	＋ 35
樹脂添加剤	575	584	1,160	＋ 14	＋ 10	80	57	138	＋ 2	＋ 20
半導体材料	228	213	442	△ 2	＋ 9	52	55	108	＋ 6	＋ 8
環境材料	456	483	940	＋ 30	＋ 10	71	58	130	△ 1	＋ 7
食品	433	476	910	＋ 16	＋ 20	13	30	44	＋ 0	△ 6
ライフサイエンス	500	659	1,160	△ 12	—	54	49	104	△ 10	—
その他	37	30	68	＋ 1	＋ 11	4	1	6	△ 0	＋ 1
合計	2,231	2,448	4,680	＋ 48	＋ 60	276	253	530	△ 2	＋ 30

2026年度 下期の市場環境見通し

ADEKA Add Goodness

世界経済

中東情勢の不安定化による資源価格・物流への影響が懸念される一方、
ＡＩ関連産業の需要は続く見通し

セグメント	化学品				食品		ライフサイエンス
マーケット	自動車	建築 インフラ	半導体	ディスプレイ	量販店 コンビニ 製パン・菓子	観光・外食	農業
下期見通し	→ 生産台数は 底堅く推移	↗ データセンター 投資の拡大	↗ 生成ＡＩが 成長牽引	↗ ＴＶ用で 大型化が続く	→ 物価高で 節約志向続く	→ インバウンド 堅調継続	→ 農薬需要は 天候不順で弱含み

樹脂添加剤｜第２四半期業績

増収・増益　販売価格の適正化に加え、北米・アジアを中心に販売が伸長

売上高	575 億円
	＋16.3 % (YoY)

営業利益	80 億円
	＋58.8 % (YoY)

Strong

北米

住宅内装材・データセンター関連需要を背景に、
塩ビ用安定剤の販売が好調

中東地域

代替輸送ルートの確保により、
ワンパック顆粒添加剤の販売が伸長



樹脂添加剤｜下期見通しと取り組み

FY2026｜高機能製品の拡販と新規用途開拓を加速し、収益基盤の強化を図る

(億円)	FY2025 1Q	FY2025 2Q	FY2025 3Q	FY2025 4Q	FY2026 1Q	FY2026 2Q
売上高	251	243	232	257	287	287
営業利益	25	24	20	25	38	41

FY2026		
上期実績	予想	
	下期	通期
575	584	1,160
80	57	138

下期の外部環境

- ▶ 北米を中心にデータセンター関連需要が拡大
- ▶ 中国石化市場は需要低迷・供給過剰が継続
- ▶ 中東情勢の不安定な状況が継続、原料価格・為替は不透明

今期の取り組み

- ● 新規透明化剤の顧客開拓および拡販
- ● データセンター関連用途で難燃剤の新規採用
- ● 中東地域での生産再開と販売拡大
- ● 市場環境に応じたプライスマネジメント

半導体材料｜第２四半期業績

増収・増益　先端DRAMの生産拡大を背景に、高誘電材料・EUV向け材料が伸長

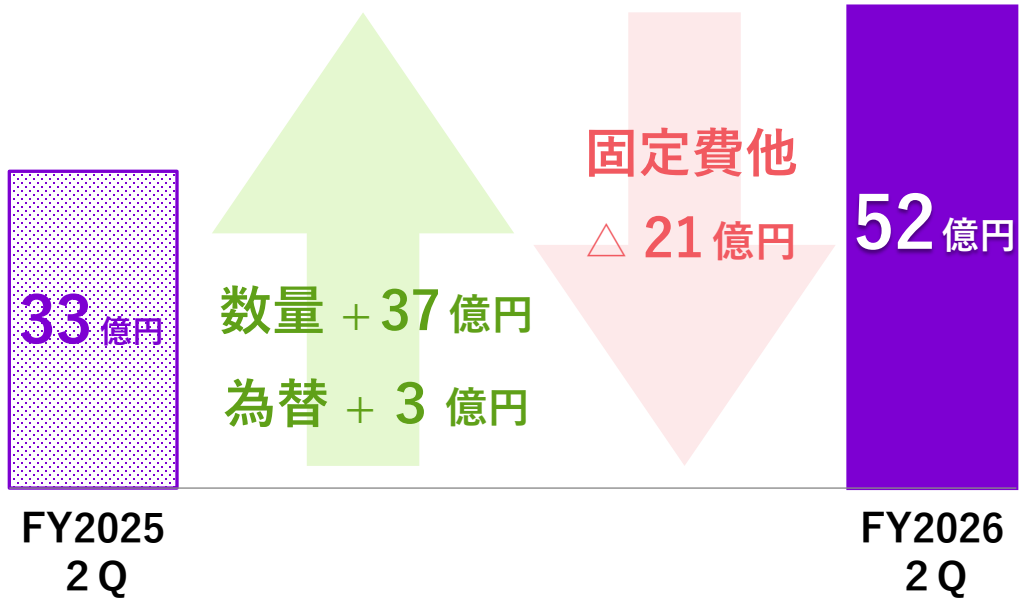
売上高	228 億円
	＋44.8 % (YoY)

営業利益	52 億円
	＋53.5 % (YoY)

Strong

▲ DRAMの微細化・生産拡大を背景に、
高誘電材料（ALD材料）の販売が好調

▲ EUV適用領域の拡大やHBM４需要の増加に伴い、
先端フォトレジスト向け半導体材料の販売が好調



半導体材料｜下期見通しと取り組み

FY2026｜ALD材料を軸に先端プロセス・周辺材料の拡大を図る

(億円)	FY2025 1Q	FY2025 2Q	FY2025 3Q	FY2025 4Q	FY2026 1Q	FY2026 2Q
売上高	73	84	97	104	108	119
営業利益	14	19	21	19	26	25

FY2026		
上期実績	予想	
	下期	通期
228	213	442
52	55	108

下期の外部環境

- AI関連需要を背景に、先端ロジック・メモリ需要が拡大
  - DRAM微細化やEUV適用拡大が続く
  - 先端パッケージングによる高機能化が進展
- 先端ロジックはN２世代への移行が進み、次世代に向けたさらなる微細化投資が継続

今期の取り組み

- 先端メモリ向けALD材料およびMOR用金属化合物の生産体制を強化
- 先端ロジック向けALD材料の顧客評価・採用を推進
- EUV世代向けレジスト材料の開発を加速

環境材料｜第２四半期業績

増収・増益　エレクトロニクス・モビリティ関連需要を背景に、高機能製品が好調

売上高	456 億円
	＋15.2 % (YoY)

営業利益	71 億円
	＋55.3 % (YoY)

Strong

エレクトロニクス分野

▲ 半導体封止材向け特殊エポキシ樹脂の販売拡大
▲ 中国でディスプレイ向け光硬化樹脂の新規採用が進展

モビリティ分野

▲ 欧米・アジアを軸に、自動車向け潤滑油添加剤が好調

生活産業分野

▲ 建築塗料・接着剤向けに反応性乳化剤が堅調



環境材料｜下期見通しと取り組み

FY2026｜成長市場・新規領域を開拓し、高機能製品のグローバル展開を加速する

(億円)	FY2025 1Q	FY2025 2Q	FY2025 3Q	FY2025 4Q	FY2026 1Q	FY2026 2Q
売上高	198	197	210	197	232	224
営業利益	22	23	27	19	35	35

FY2026		
上期実績	予想	
	下期	通期
456	483	940
71	58	130

下期の外部環境

- ▶ モビリティ関連需要は底堅く推移
- ▶ AI・半導体関連投資が継続し、エレクトロニクス需要は堅調を維持
- ▶ 塗料・接着剤用途の需要拡大が継続

今期の取り組み

- ● 自動車向け潤滑油添加剤のグローバルでの販売拡大
- ● 接着材料・反応性乳化剤の販売拡大
- ● エレクトロニクス分野での採用拡大
- ● 市場環境に応じたプライスマネジメント

食品｜第２四半期業績

ADEKA Add Goodness

増収・減益　高機能製品の販売が伸長する一方、コスト上昇が収益性を圧迫

売上高	433 億円	＋6.5 % (YoY)
営業利益	13 億円	△ 35.7 % (YoY)

Strong

- ▲ 機能性マーガリン「マーベラス」の販売が伸長
- ▲ 高機能練込素材の販売が国内外で堅調
- ▲ プラントベースフード「デリプランツ」の販売が堅調

Weak

- ▼ 原材料価格高騰や製造コスト増加により収益性が低下
- ▼ 製菓向けショートニングなどで数量減少
- ▼ 中国では景気低迷の影響を受け、販売の回復が緩やか



食品｜下期見通しと取り組み

FY2026｜高機能製品の拡販および海外展開を推進し、収益力の向上を図る

(億円)	FY2025 1Q	FY2025 2Q	FY2025 3Q	FY2025 4Q	FY2026 1Q	FY2026 2Q
売上高	205	201	220	202	214	219
営業利益	11	9	15	7	8	4

FY2026		
上期実績	予想	
	下期	通期
433	476	910
13	30	44

下期の外部環境

- 原材料価格の上昇を背景に、高機能製品へのニーズが拡大
- 中国市場では価格重視の傾向が継続
- 調達・物流・製造コストは高水準、為替動向は不透明

今期の取り組み

- フードテックを軸に、高機能製品のグローバル展開を推進
- 高機能練込素材や機能性マーガリン「マーベラス」の販売を拡大
- オルタナティブフード*の需要拡大を捉え、「デリプランツ」シリーズの用途開拓を進展

*代替食品

ライフサイエンス（日本農薬）｜第２四半期業績

増収・増益　国内・北米・欧州を中心に農薬需要が堅調

売上高	500 億円
	＋5.0 % (YoY)

営業利益	54 億円
	32.0 % (YoY)

Strong

北米

ナッツ・果樹向け殺虫剤の販売が好調

東欧

ばれいしょ向け除草剤の販売が好調

国内

水稲向け殺菌剤や園芸向け農薬の販売が好調



ライフサイエンス｜下期見通しと取り組み

FY2026｜自社開発品を中心に市場深耕と品目拡充を進め、販売拡大と収益基盤強化を図る

(億円)	FY2025 1Q	FY2025 2Q	FY2025 3Q	FY2025 4Q	FY2026 1Q	FY2026 2Q
売上高	271	205	226	414	310	189
営業利益	32	8	8	47	44	10

FY2026		
上期実績	予想	
	下期	通期
500	659	1,160
54	49	104

下期の外部環境

- 世界の農薬需要は、
  高コスト環境や天候不順を背景に弱含み
- 中国の供給過剰を背景に、農薬価格は下落基調
- 農家の収益性悪化を受け、
  低価格農薬へのシフトや散布回数の削減が進行

今期の取り組み

- 国内・北米・欧州を中心に主力農薬の販売拡大
- 主力農薬の適用拡大・地域展開を推進
- 規制対応製品・バイオスティミュラントなど
  中長期的な成長領域の開発を推進

半導体事業の成長戦略｜研究開発体制を強化

2026年7月 半導体イノベーションセンター本格稼働

01 研究スペースを拡大

02 評価・分析設備の拡充

03 研究機能・技術を集約

半導体材料の研究開発を加速

ALD材料
材料・成膜技術の研究を強化

後工程・パッケージ
材料開発を加速

リソグラフィ材料
次世代材料の開発を推進



約130名

半導体材料の研究人員を集約
（2026年10月時点）

約120億円

研究開発基盤への投資
半導体イノベーションセンター総工費

半導体事業の成長戦略｜先端半導体材料

ADEKA Add Goodness

3D半導体デバイス向け材料
米インテグリスと協業

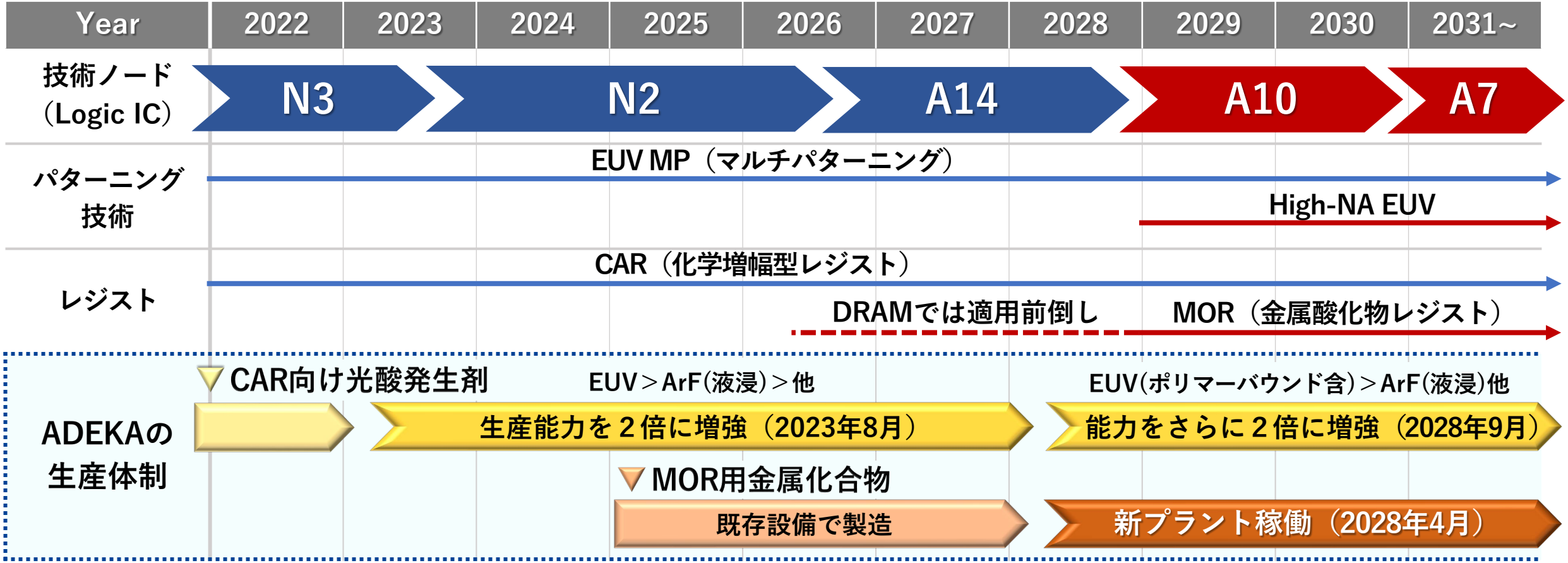
内 容	先端半導体材料の国内生産
所 在 地	ADEKA 鹿島化学品工場 （茨城県 神栖市）
稼 働	2027年10月 営業運転開始（予定）

先端半導体向けALD材料
生産設備を新設

内 容	先端半導体向けALD材料の生産設備
所 在 地	ADEKA 鹿島化学品工場 （茨城県 神栖市）
稼 働	2028年8月 営業運転開始（予定）

半導体事業の成長戦略｜先端リソグラフィ材料

A10世代向け需要の本格化を見据え、量産体制を構築
光酸発生剤は想定を上回る需要拡大を受け、能力増強を約２年前倒し



≪Appendix≫

補足資料

第２四半期業績（セグメント別）

（億円）	FY2025　２Q		FY2026　２Q		増減額		対前期 増減率		営業利益率
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	
化学品	1,048	130	1,260	203	＋ 211	＋ 73	＋ 20.2 %	＋ 56.2 %	16.2 %
樹脂添加剤	494	50	575	80	＋ 80	＋ 29	＋ 16.3 %	＋ 58.8 %	13.9 %
半導体材料	157	33	228	52	＋ 70	＋ 18	＋ 44.8 %	＋ 53.5 %	22.8 %
環境材料	396	46	456	71	＋ 60	＋ 25	＋ 15.2 %	＋ 55.3 %	15.7 %
食品	406	20	433	13	＋ 26	△ 7	＋ 6.5 %	△ 35.7 %	3.1 %
ライフサイエンス	477	41	500	54	＋ 23	＋ 13	＋ 5.0 %	＋ 31.9 %	11.0 %
その他	24	4	37	4	＋ 12	△ 0	＋ 52.0 %	△ 1.8 %	13.0 %
合計	1,957	197	2,231	276	＋ 274	＋ 79	＋ 14.0 %	＋ 40.0 %	12.4 %

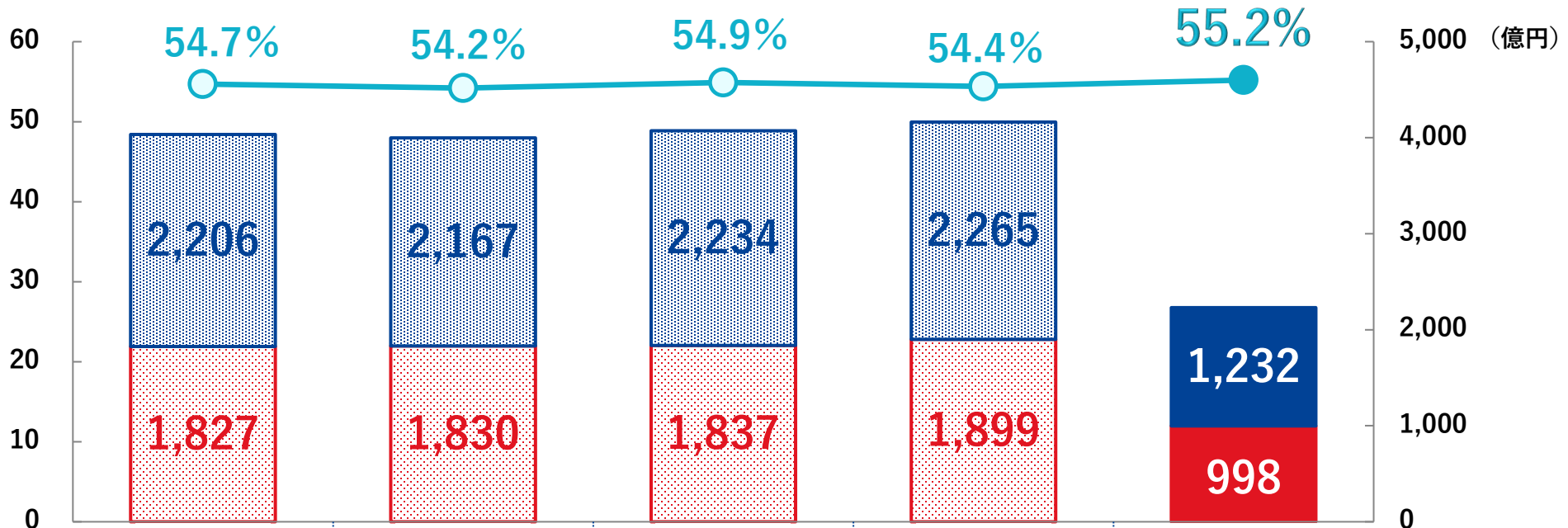
2026年度 連結業績予想（セグメント別）

（億円）	FY2025		FY2026		増減額		対前期 増減率		営業利益率
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	
化学品	2,148	263	2,542	376	＋ 393	＋ 112	＋ 18.3 %	＋ 42.7 %	14.8 %
樹脂添加剤	984	96	1,160	138	＋ 175	＋ 41	＋ 17.8 %	＋ 43.4 %	11.9 %
半導体材料	360	74	442	108	＋ 81	＋ 33	＋ 22.8 %	＋ 44.8 %	24.4 %
環境材料	803	92	940	130	＋ 136	＋ 37	＋ 17.0 %	＋ 40.3 %	13.8 %
食品	830	43	910	44	＋ 79	0	＋ 9.6 %	＋ 0.8 %	4.8 %
ライフサイエンス	1,117	98	1,160	104	＋ 42	＋ 5	＋ 3.8 %	＋ 5.9 %	9.0 %
その他	69	10	68	6	△ 1	△ 4	△ 2.2 %	△ 44.1 %	8.8 %
合計	4,165	416	4,680	530	＋ 514	＋ 113	＋ 12.3 %	＋ 27.4 %	11.3 %

会計期間ごとの業績推移（セグメント別）

（億円）	FY24 Q1	Q2	Q3	Q4	FY25 Q1	Q2	Q3	Q4	FY26 Q1	Q2
売上高	981	969	1,013	1,107	1,016	941	1,010	1,197	1,170	1,061
化学品	564	551	558	509	523	525	540	558	628	631
樹脂添加剤	*277*	*260*	*265*	*250*	*251*	*243*	*232*	*257*	*287*	*287*
半導体材料	*86*	*89*	*89*	*75*	*73*	*84*	*97*	*104*	*108*	*119*
環境材料	*200*	*201*	*203*	*183*	*198*	*197*	*210*	*197*	*232*	*224*
食品	209	200	220	194	205	201	220	202	214	219
ライフサイエンス	192	198	222	385	271	205	226	414	310	189
その他	14	17	11	17	15	9	22	22	16	20
営業利益	86	96	117	109	109	87	95	123	156	119
化学品	75	74	77	52	63	67	69	63	101	102
樹脂添加剤	*31*	*25*	*27*	*24*	*25*	*24*	*20*	*25*	*38*	*41*
半導体材料	*21*	*26*	*27*	*15*	*14*	*19*	*21*	*19*	*26*	*25*
環境材料	*22*	*23*	*21*	*13*	*22*	*23*	*27*	*19*	*35*	*35*
食品	13	8	15	6	11	9	15	7	8	4
ライフサイエンス	△ 3	9	24	47	32	8	8	47	44	10
その他	1	2	1	2	3	1	2	3	1	2

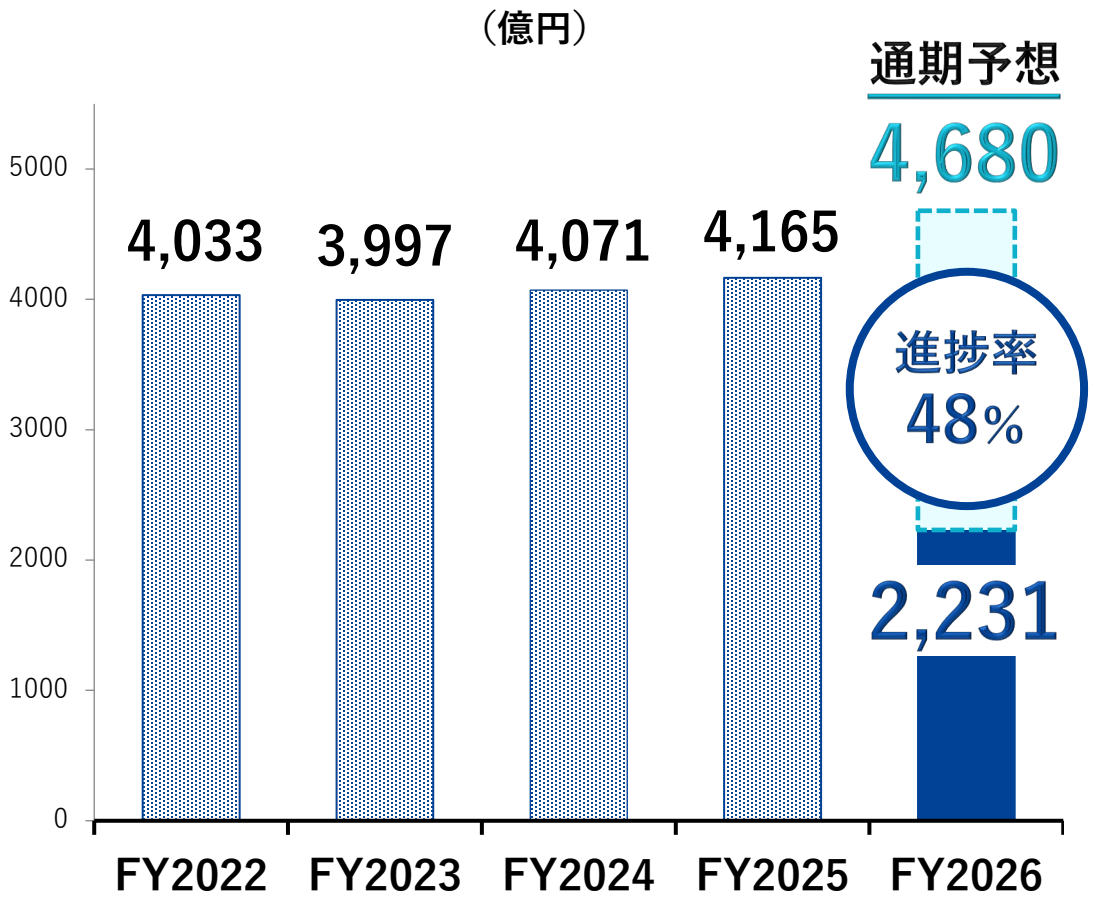
海外売上高



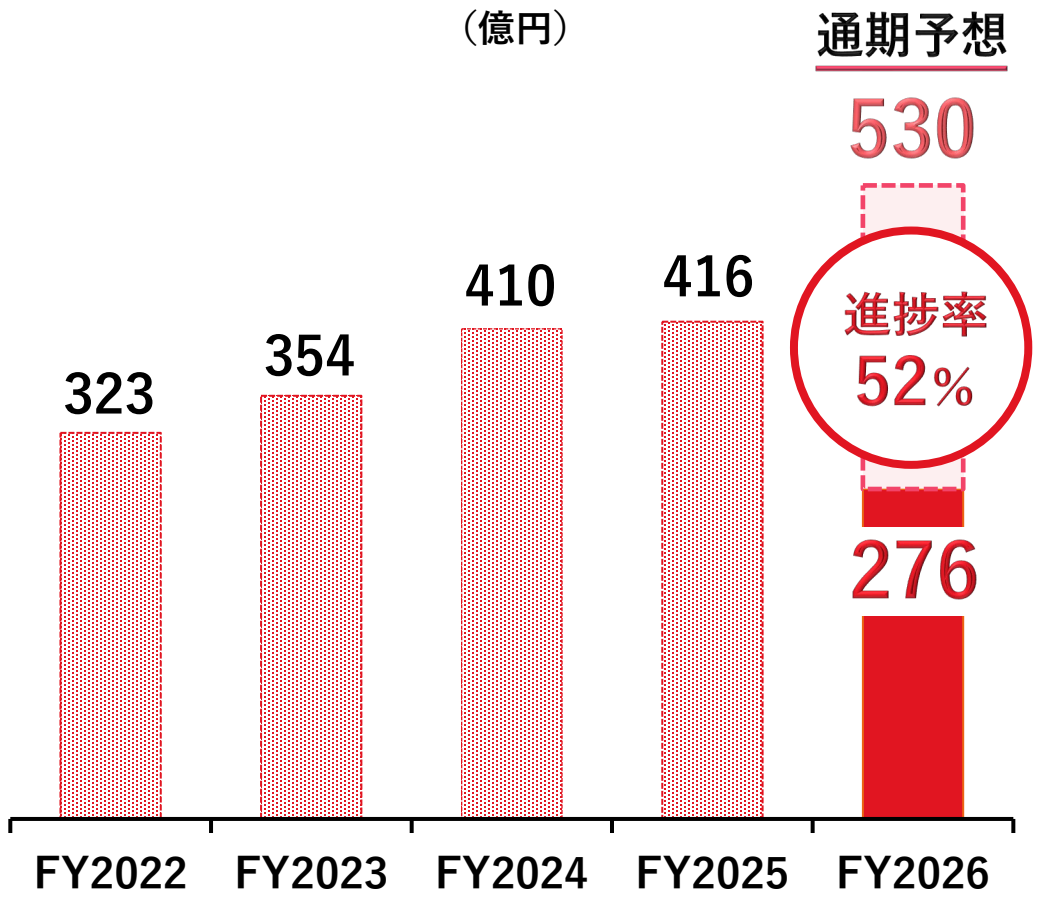
	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026 2Q	
海外	2,206	2,167	2,234	2,265	1,232	（億円）
日本	1,827	1,830	1,837	1,899	998	（億円）
海外売上高比率	54.7	54.2	54.9	54.4	55.2	（%）

連結業績推移

売上高



営業利益



設備投資の状況

樹脂添加剤　半導体材料　環境材料

韓国

- 高性能透明化剤「トランスパレックス」製造プラント（2028年11月 稼働予定）
- 先端メモリ向け高誘電材料 新規材料の製造棟（2024年10月）

台湾

- 半導体向けALD材料 新プラント（2024年4月）

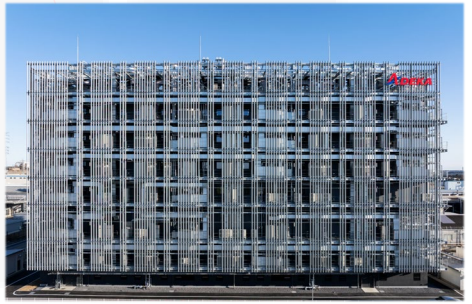


米国

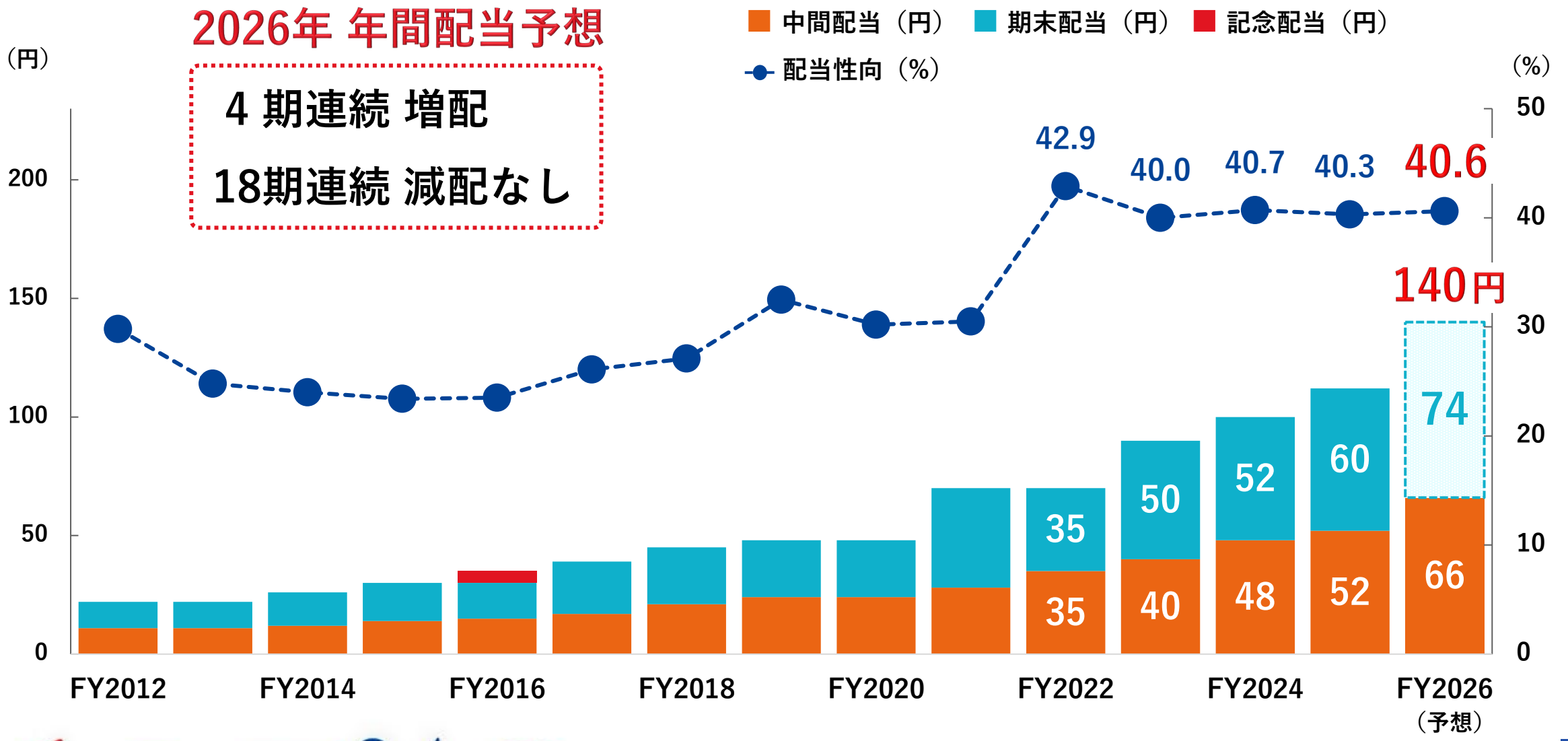
- 添加剤 原料タンク新設（2025年8月）

日本

- 新研究棟「半導体イノベーションセンター」（久喜、2026年7月）稼 働
- 3D 半導体デバイス向け材料 生産設備（鹿島化学品、2027年10月 稼働予定）
- MOR用金属化合物 新プラント（鹿島化学品、2028年4月 稼働予定）
- 先端半導体向けALD材料 生産設備（鹿島化学品、2028年8月 稼働予定）
- 先端フォトレジスト向け光酸発生剤 製造設備の増強（千葉、2028年9月 稼働予定）



配当金と配当性向の推移



中期経営計画｜経営目標

		FY2024　実績	FY2025　実績	FY2026　目標
財務指標	営業利益	410億円 （売上高　4,071億円）	416億円 （売上高　4,165億円）	530億円 （売上高　5,000億円）
	ROE	8.6%	9.1%	11.0%
	ROIC	9.1%	9.1%	10.5%
サステナビリティ指標	環境貢献製品売上高	868億円	924億円	1,150億円
	GHG排出量	213千t-CO2e	206千t-CO2e	199千t-CO2e
	女性管理職比率	5.8%（単体）	5.9%（単体）	6%以上（単体）
設備投資額		186 億円	216 億円	750 億円（3カ年）
株主還元方針（配当性向）		40.7%	40.3%	40%以上



本資料に記載されている業績予想、事業計画は、本資料発表日現在において
入手可能な情報及び一定の前提に基づき作成したものであり、実際の結果は
今後生ずる様々な要因によって、予想、計画と異なる場合があります。

2026年度 第２四半期

決算 補足説明

取締役兼常務執行役員

志賀 洋二

連結貸借対照表

（億円）	26/3 末	26/9 末	増減
流動資産	3,543	3,626	83
現金及び預金	965	1,089	123
受取手形及び売掛金等	1,167	1,005	△ 161
棚卸資産	1,195	1,335	140
その他	214	195	△ 19
固定資産	2,056	2,161	105
有形固定資産	1,317	1,323	6
無形固定資産	153	146	△ 6
投資その他の資産	585	691	106
資産合計	5,599	5,788	188

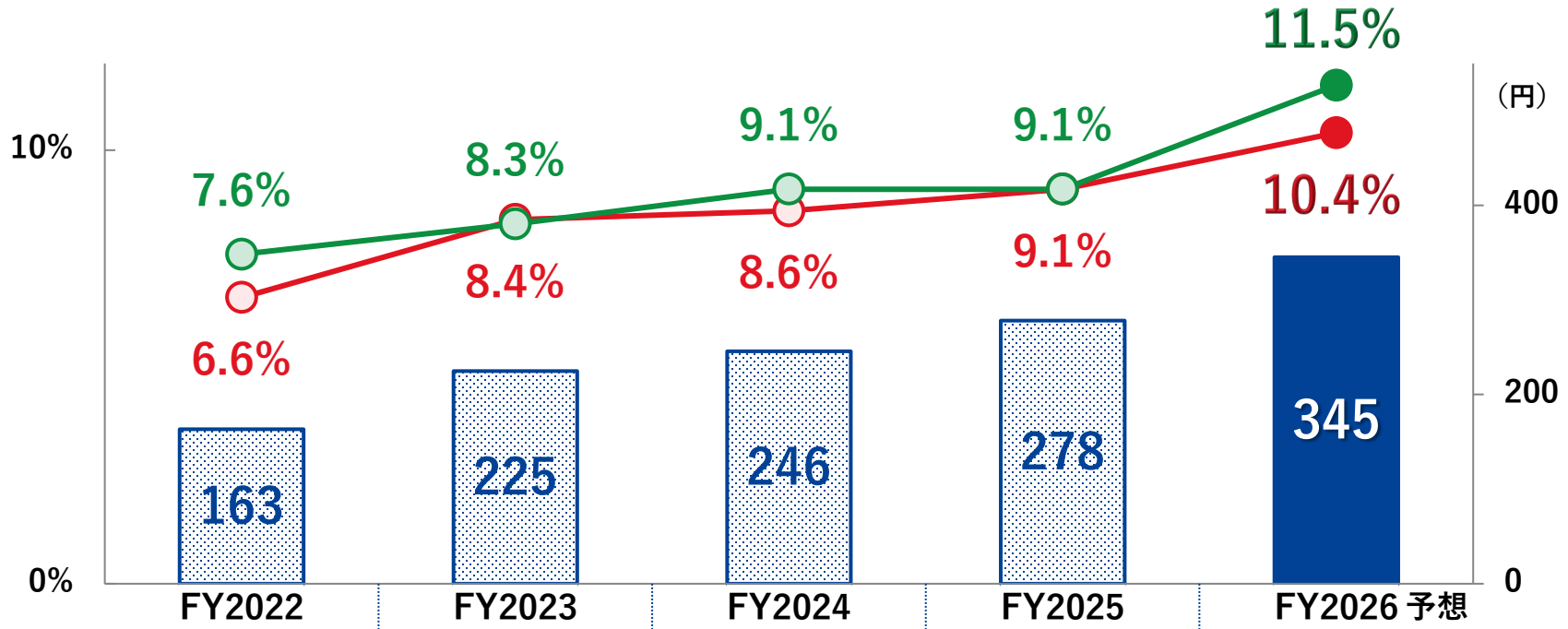
	26/3 末	26/9 末	増減
負債	1,884	1,870	△ 13
流動負債	1,154	1,183	29
固定負債	729	687	△ 42
純資産	3,715	3,918	202
株主資本	2,700	2,800	99
資本金	230	230	–
資本剰余金	204	202	△ 1
利益剰余金	2,455	2,410	△ 45
自己株式	△ 189	△ 43	146
その他の包括利益累計額	433	520	86
非支配株主持分	581	597	16
負債・純資産合計	5,599	5,788	188

キャッシュフロー計算書（要約）

（単位：億円）

	前中間連結会計期間 (2025/4/1 - 2025/9/30)	当中間連結会計期間 (2026/4/1 - 2026/9/30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	312	384
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 215	△ 156
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 173	△ 193
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	2
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 63	37
現金及び現金同等物の期首残高	1,077	878
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	6	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,020	915

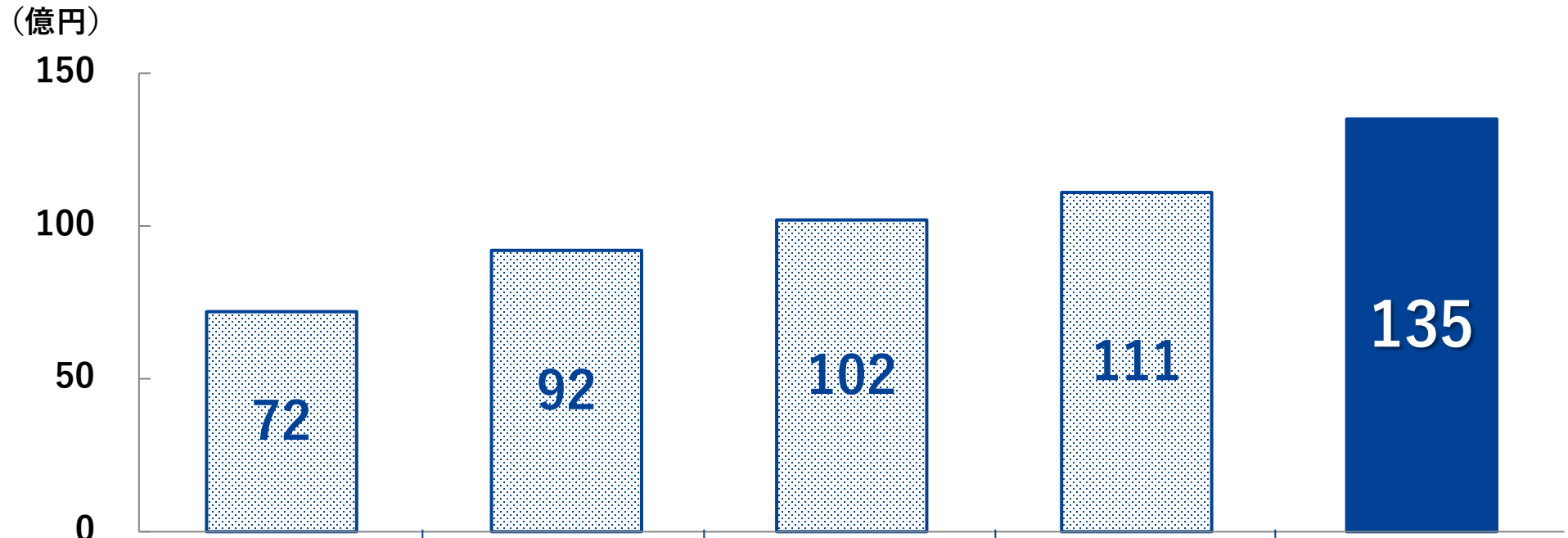
収益性（EPS・ROE・ROIC・ROA）



	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026 予想	
EPS（1株当り当期純利益）	163.3	224.9	245.6	278.0	345.2	（円）
ROE（自己資本当期純利益率）	6.6%	8.4%	8.6%	9.1%	10.4%	
ROIC	7.6%	8.3%	9.1%	9.1%	11.5%	
ROA（総資産経常利益率）	6.7%	6.9%	7.2%	7.8%	9.3%	

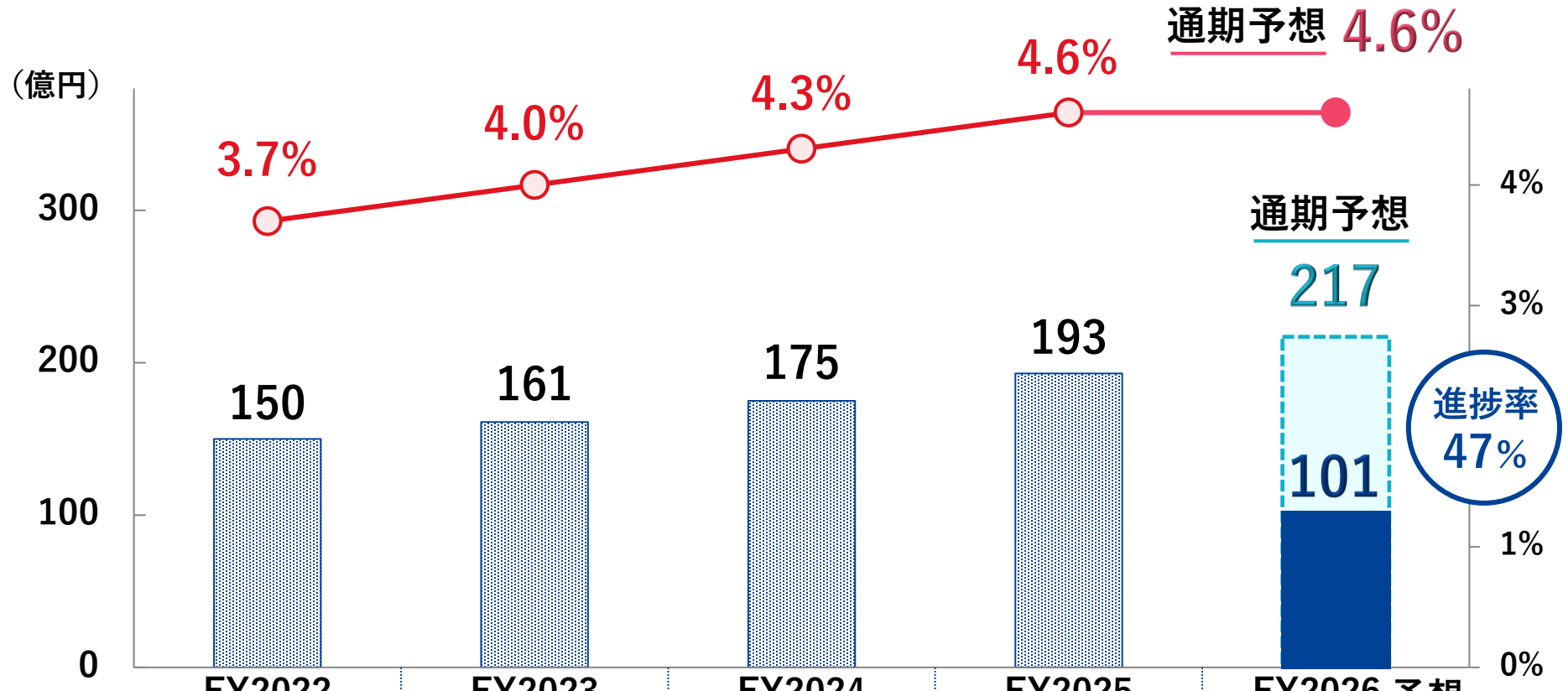
※EPSは直近の期末発行済株式数（2026年9月末。自己株式を除く。）を用いて算出しています。
ROE・ROIC・ROAの算定に用いる自己資本・株主資本・有利子負債・総資産は、実績は期首・期末平均、予想は期首・直近の期末（2026年9月末）平均を用いて算出しています。

配当総額



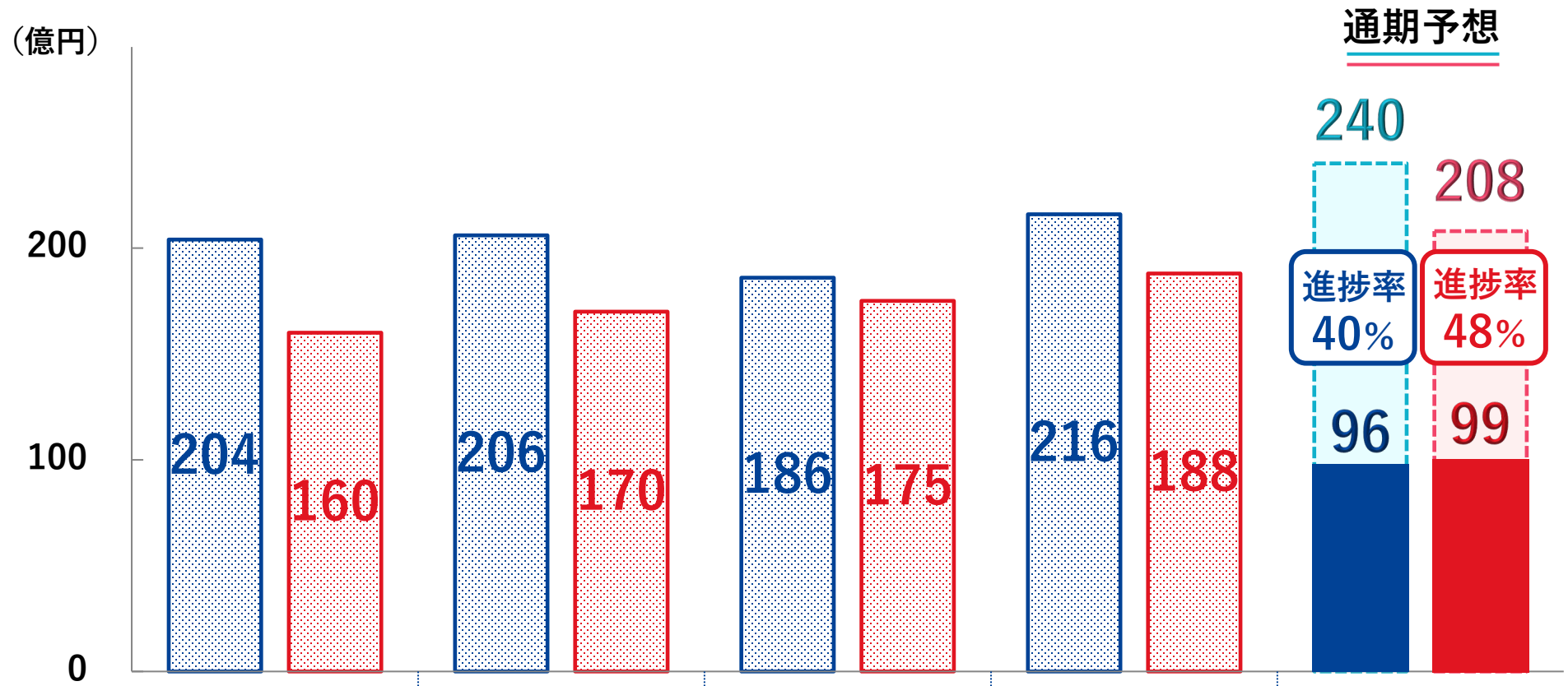
	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026 予想	
配当総額	72	92	102	111	135	（億円）
配当金	70	90	100	112	140	（円）

研究開発費



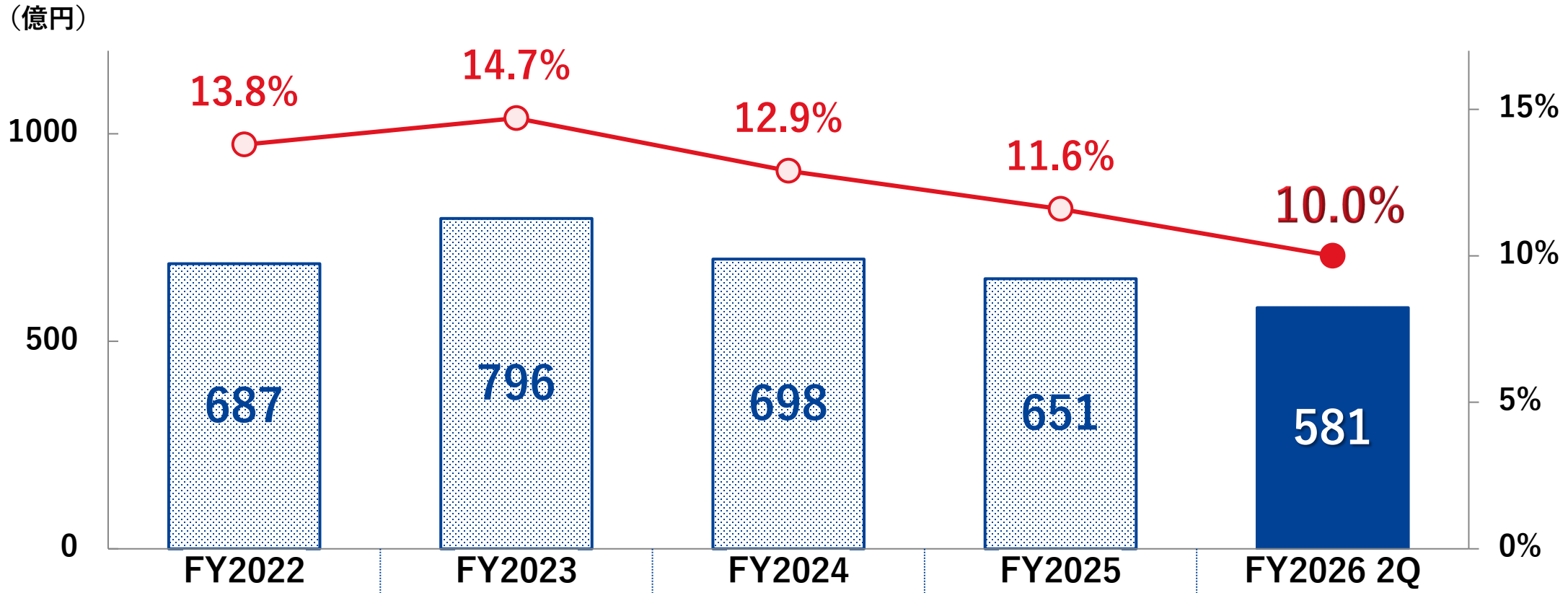
	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026 予想	
研究開発費	150	161	175	193	217	（億円）
売上高研究開発費比率	3.7%	4.0%	4.3%	4.6%	4.6%	

設備投資



	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026予想	
設備投資	204	206	186	216	240	（億円）
減価償却費	160	170	175	188	208	（億円）

有利子負債



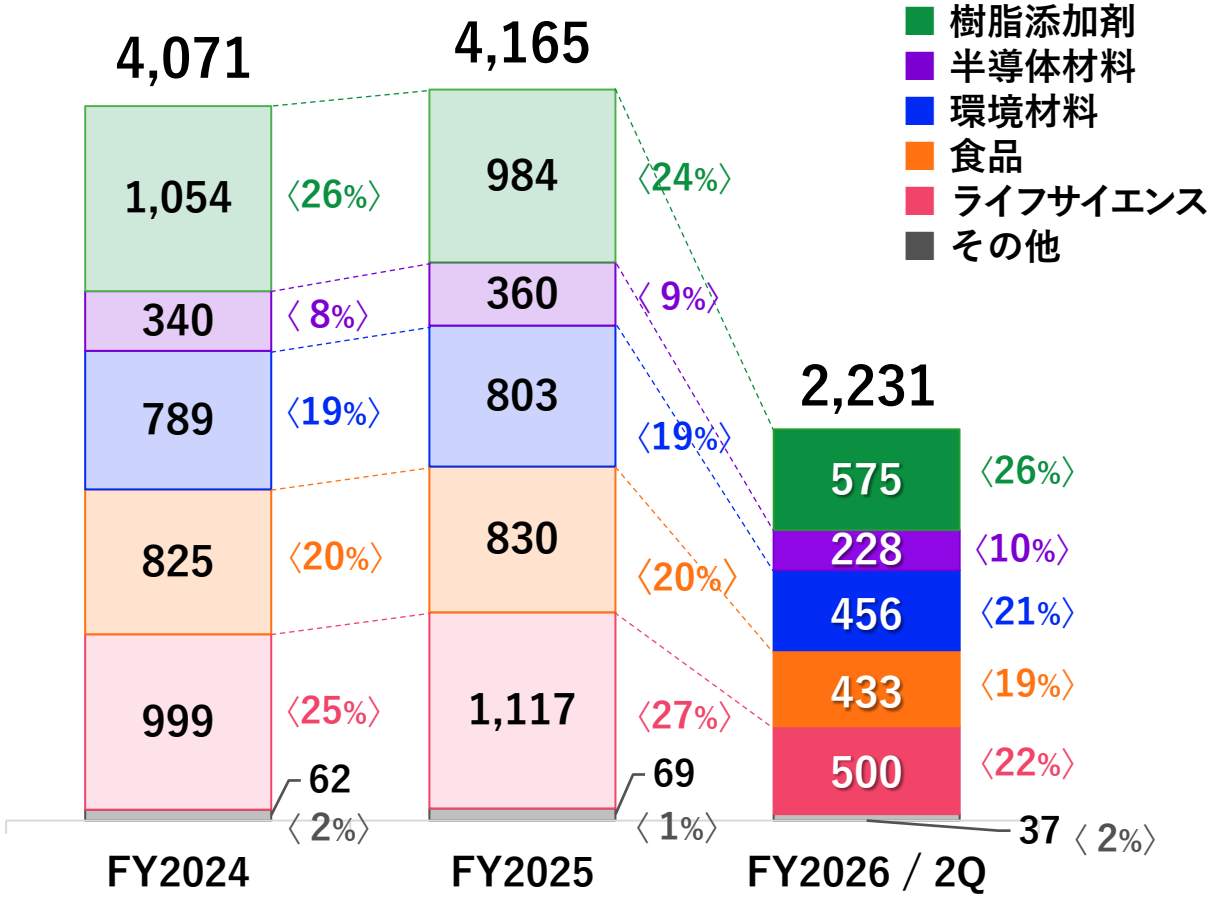
	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026 2Q
有利子負債	687	796	698	651	581
有利子負債依存度	13.8%	14.7%	12.9%	11.6%	10.0%

（億円）

セグメント別 構成比の推移

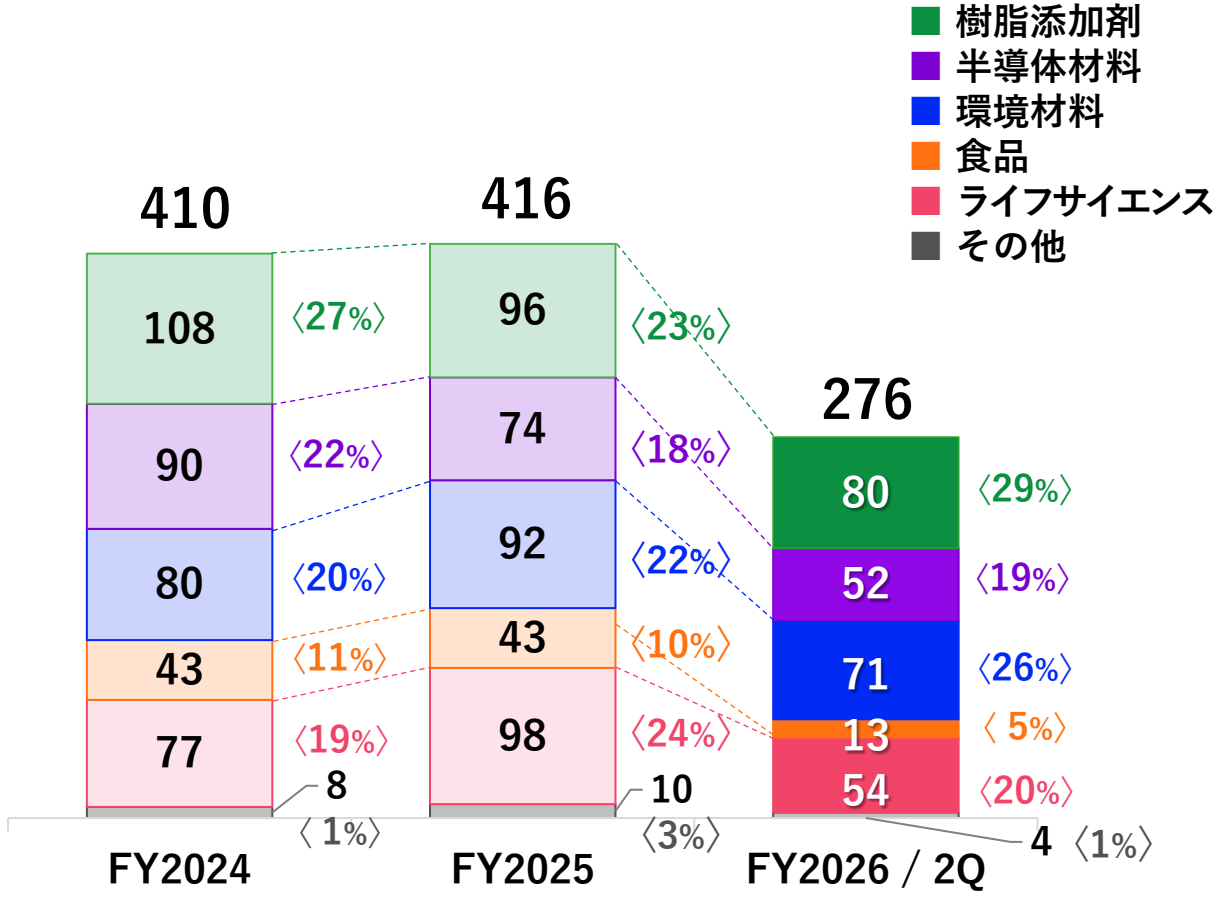
売上高

（億円）



営業利益

（億円）



事業区分別主力製品

【 事業区分 】		【 主要製品 】
報告セグメント	化学品事業	樹脂添加剤：ポリオレフィン用添加剤、塩ビ用安定剤・可塑剤、難燃剤、その他
		半導体材料：高純度半導体材料、半導体リソグラフィ材料、電子回路基板エッチング装置及び薬剤、その他
		環境材料：エポキシ樹脂、ポリウレタン原料、水系樹脂、界面活性剤、潤滑油添加剤、厨房用洗浄剤、化粧品原料、プロピレングリコール類、過酸化水素及び誘導品、水膨張性シール材、電池材料、光硬化樹脂、光開始剤、画像材料、その他
	食品事業	マーガリン類、ショートニング、チョコレート用油脂、フライ・調理用油脂、プラントベースフード、ホイップクリーム、練り込み用クリーム、フィリング類、マヨネーズ・ドレッシング類、機能性食品素材、その他
	ライフサイエンス事業	農薬、医薬品、医薬部外品、動物用医薬品、木材薬品、その他
その他		設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス、物流業、倉庫業、車輌等リース、不動産業、保険代理業、その他

主な用途と製品例

● 樹脂添加剤　● 半導体材料　● 環境材料　● 食品　● ライフサイエンス

【セグメント】	【マーケット】	【主な用途と製品例】
化学品	自動車	● 内外装 ：核剤、光安定剤　● ハーネス ：塩ビ用安定剤　● ゴム部材 ：可塑剤 ● エンジンオイル ：潤滑油添加剤　● 構造用接着剤 ：エポキシ樹脂 ● 車載用電子部品 ：エポキシ樹脂接着剤
	建築・インフラ	●● 壁紙・サッシ、パイプ：塩ビ用安定剤　● 塗料 ：反応性乳化剤、水系樹脂 ●● 床材 ：塩ビ用安定剤、エポキシ樹脂
	半導体	●● メモリ・ロジックIC ：高誘電材料、半導体リソグラフィ材料、エッチング材料、過酸化製品
	エレクトロニクス	●●● 光学フィルム ：光安定剤、光硬化樹脂、水系樹脂　● 筐体：難燃剤 ● カラーフィルター ：光重合開始剤、BMレジスト　●● 基板 ：エッチング材料、過酸化製品
食品	量販店・コンビニ	● パン・菓子 ：マーガリン、ショートニング、フィリング ● 洋菓子 ：ホイップクリーム　● 土産菓子 ：マーガリン、クリーム
	観光・外食産業	● ホテル・カフェ・レストラン ：プラントベースフード
ライフサイエンス	農　業	● 水稲・園芸 ：殺虫剤、殺菌剤　● 除草剤